

7/22(土) 西館先行オープン



新たな学び・挑戦 ミライエから始めよう

- 開館時間
 - 施設全体 午前9時～午後9時
 - 互尊文庫 午前9時30分～午後7時
 - ※いずれも日曜・祝日は午後6時まで
- 休館日
 - 毎月第2木曜日と月末(土・日曜日の場合、翌月曜日)、12月29日～1月3日

大手通坂之上町地区で整備が進む、人材育成と産業振興、イノベーションの拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」。いよいよ7月22日(土)に西館が先行オープンします。▶予算P5
4月から一部施設の予約がスタート。市民の学びと挑戦を後押しする機能を紹介します。

①～③ミライエ長岡企画推進室 ☎86・6008
④～⑦産業イノベーション課 ☎39・2402

5階 起業・創業、産業協創のフロア

NaDeC BASEが機能を拡充し、本格稼働します。新たなビジネスなどにチャレンジする多様な人材が集まる場です。

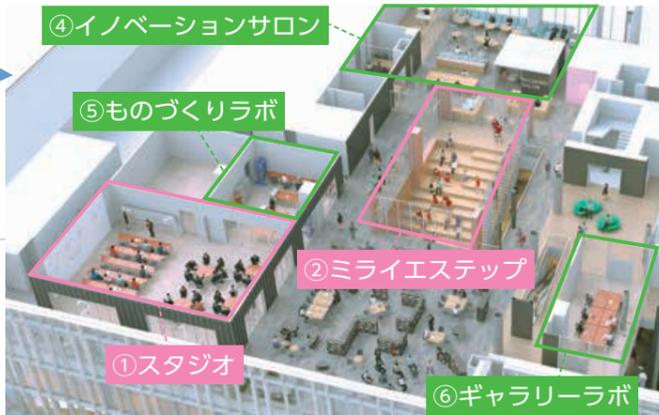
施設の予約を受け付けます

利用方法など詳しくはお問い合わせください。

- ①スタジオ
最大65人収容できる可動式の間仕切りを備えたスペース。セミナーや講演会などに
- ②ミライエステップ
4階から5階の階段を活用。最大100人収容でき、大型スクリーンやプロジェクターの利用が可能
- ③ミライエハウス
最大30人収容できる図書館内のガラス張りスペース。子どもの学びの場、交流イベントに

3階 集い・憩い・学び・知る・にぎわいのメインフロア

新しい互尊文庫をはじめとする、子どもから大人まで誰でも気軽に立ち寄れる学びの場です。



予約の開始時期など、詳しくは市ホームページなどでお知らせします。

- ④イノベーションサロン
産学官の連携による新規プロジェクトの創出や会員制(有料)のコワーキング機能を持つスペース
- ⑤ものづくりラボ
3Dプリンターやレーザーカッターなどを備え、自由に製品や試作品の開発などができるスペース
- ⑥ギャラリーラボ
大学と企業の共同研究の場に。最新の装置や研究成果を実際に見学することも可能
- ⑦コラボレーションオフィス(6階)
起業家の育成や事業協創を進める企業の開発拠点などが入居する貸しオフィス

東館の整備 いよいよスタート

全館オープンに向けて、今年度から令和7年度にかけて東館の工事を行います。

東館には何ができるの？

- 中・高校生の居場所「ティーンズラボ」
- 長岡イノベーター人物史展示
- 緑ある憩いの屋内空間
- レストラン、カフェ
- 長岡商工会議所
- 長岡市役所商工部、観光・交流部



「こめぷら」で動画の感想を話す栖吉小学校の児童

デジタルとリアルで深める 一人ひとりに最適な学び

長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」

長岡教育情報プラットフォーム / **こめぷら**

どんなことができる？

- デジタルでの「学び」
子どもの興味・関心の幅を広げるさまざまなジャンルの動画の閲覧
- リアルの「体験」
市内で行われる体験活動やイベント情報の検索、申し込みが可能

市は、ICT(情報通信技術)を活用しながら、多様な教育支援を進める「Edu-Diver」構想」に取り組んでいます。

その一環として、独自の学習コンテンツや体験活動などの情報を集約したウェブサイト「長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」」の本格運用を開始しました。

学びを実感できる環境にミライエとの連携も

市内の文化施設やイベントなどの情報を動画と関連付け、実際に体験できる仕組みを構築。学校とは異なる体験を提供する「米百俵プレイスミライエ長岡」とも連携します。

市は今後も、子どもたちの主体的な学びを促し、オール長岡で子どもの可能性を引き出す環境づくりを進めます。

昨年11月から試験運用を始め、長岡の先人やものづくり技術、仕事体験など幅広いジャンルの動画を配信。地元企業や市内4大学1高専、小・中学校の関係者などと協力し、内容の検討を進めてきました。授業や宿題のほか、子どもが自身の興味・関心を追求できるツールとしても活用が期待されます。

動画を視聴した子どもたちの声

授業で学んだSDGs。長岡にも一生懸命取り組む会社がいっぱいあるんだね！

火焰土器の動画を見て、6年生で歴史を勉強するのが楽しみに♪

将来の夢はまだ考え中だけど、おしごと体験動画でやりたいことが見つかりそう！

誰でも気軽に！ こめぷらで新たな学び

「こめぷら」は誰でもアクセスできます。大人の生涯学習にもご活用ください。

★企業のみなさん、こめぷらの充実にご協力を！
学校向けの職場体験・企業見学などの情報や、企業の取り組み・働くことの大切さをまとめた動画を募集しています。詳しくは市ホームページで。

主体的に学び、長岡を誇りに思う子を育てる

栖吉小学校(現・才津小学校) 教諭 佐藤 雅子 さん



授業で工業について学んだ後の宿題では、それぞれが興味を持った市内のものづくり企業の動画を視聴しました。子どもの中にストンと入るのは、やはり身近なこと。長岡ならではの情報が集まる「こめぷら」の活用は、子どもたちがより関心高く学ぶことができ、自分の住むまちを誇りに思うきっかけにもなります。また、「自分で選ぶ」ことで子どもたちが主体的に学ぶ姿勢を育みます。

今後は子どもたちの学習成果を発表する場としても活用できると良いですね。動画の視聴だけでなく、リアルな体験や発信の場としても充実していくことを期待します。